IESフォーマット：概要

JIS FORMAT C 8105-5:2011
[TEST] {試験識別名}
[TESTLAB] {試験機関名}
[ISSUEDATE] {発行日付}
[MANUFAC] {器具の製造業者名}
[LUMCAT] {照明器具の品番}
[LUMINAIRE] {照明器具の説明}
[LAMPCAT] {光源の品番}
[LAMP] {光源の説明}
TILT=NONE
{灯数} {ランプ光束} {光度の表示種別}
{鉛直角データ数} {水平角データ数} {座標系} 2
{長方形の場合:幅(m),円形の場合:直径(m,マイナス符号をつける)} {長方形の場合:長さ(m),円形の場合:直径(m,マイナス符号をつける)} {高さ(m)}
1 1 {定格消費電力(W)}
{鉛直角横ベクトル}
{水平角横ベクトル}
{水平角毎の光度横ベクトル 1}
{水平角毎の光度横ベクトル 2}
・
・
・
{水平角毎の光度横ベクトル n}

IESファイルは、弊センターからお送りさせていただいた状態では完全ではありません。
・ランプ光束　・定格消費電力　・一部のヘッダ情報
が★で示されていますので、これらに適切な値を入力することでシミュレーションソフト等で使用することができます。

この部分が★で表されていますので、次頁以降の説明をご参照の上、適切な数値をご記入いただき、IESデータをご利用ください。

※IESファイルの中身は、テキストデータです。IESファイルの編集は、メモ帳などで値を直接修正してください。
※テキスト編集ソフト以外のソフトウェアでの修正は、反映されなかったり誤動作の原因となりますのでご注意ください。
※IESファイルの編集は、お客様の責任にてお願い致します。

IESフォーマット：概要

※1 {　}を試験に基づいた数値あるいは文字と置き換えます。
※2 データ間は半角スペースで区切ります。
※3 使用可能な文字は、半角英数字のみです。
※4 同一行に記載できる最大文字数は256文字です。

JIS FORMAT C 8105-5:2011
[TEST] {試験識別名}
[TESTLAB] {試験機関名}
[ISSUEDATE] {発行日付}
[MANUFAC] {器具の製造業者名}
[LUMCAT] {照明器具の品番}
[LUMINAIRE] {照明器具の説明}
[LAMPCAT] {光源の品番}
[LAMP] {光源の説明}
TILT=NONE
{灯数} {ランプ光束} {光度の表示種別}
{鉛直角データ数} {水平角データ数} {座標系} 2
{長方形の場合:幅(m),円形の場合:直径(m,マイナス符号をつける)} {長方形の場合:長さ(m),円形の場合:直径(m,マイナス符号をつける)} {高さ(m)}
1 1 {定格消費電力(W)}
{鉛直角横ベクトル}
{水平角横ベクトル}
{水平角毎の光度横ベクトル 1}
{水平角毎の光度横ベクトル 2}
・
・
・
{水平角毎の光度横ベクトル n}

IESフォーマット：必須項目と省略可能項目

必須項目

省略可能項目

JIS FORMAT C 8105-5:2011

[TEST] {試験識別名}

[TESTLAB] {試験機関名}

[ISSUEDATE] {発行日付}

[MANUFAC] {器具の製造業者名}

[LUMCAT] {照明器具の品番}

[LUMINAIRE] {照明器具の説明}

[LAMPCAT] {光源の品番}

[LAMP] {光源の説明}

TILT=NONE

{灯数} {ランプ光束} {光度の表示種別}

{鉛直角データ数} {水平角データ数} {座標系} 2

{長方形の場合:幅(m),円形の場合:直径(m,マイナス符号をつける)} {長方形の場合:長さ(m),円形の場合:直径(m,マイナス符号をつける)} {高さ(m)}

1 1 {定格消費電力(W)}

{鉛直角横ベクトル}

{水平角横ベクトル}

{水平角毎の光度横ベクトル 1}

{水平角毎の光度横ベクトル 2}

・

・

・

{水平角毎の光度横ベクトル n}

IESフォーマット：固定値

JIS FORMAT C 8105-5:2011
[TEST] {試験識別名}
[TESTLAB] {試験機関名}
[ISSUEDATE] {発行日付}
[MANUFAC] {器具の製造業者名}
[LUMCAT] {照明器具の品番}
[LUMINAIRE] {照明器具の説明}
[LAMPCAT] {光源の品番}
[LAMP] {光源の説明}
TILT=NONE
{灯数} {ランプ光束} {光度の表示種別}
{鉛直角データ数} {水平角データ数} {座標系} 2
{長方形の場合:幅(m),円形の場合:直径(m,マイナス符号をつける)} {長方形の場合:長さ(m),円形の場合:直径(m,マイナス符号をつける)} {高さ(m)}
1 1 {定格消費電力(W)}
{鉛直角横ベクトル}
{水平角横ベクトル}
{水平角毎の光度横ベクトル 1}
{水平角毎の光度横ベクトル 2}
・
・
・
{水平角毎の光度横ベクトル n}

の項目は、データ内容にかかわらず固定値です。

IESフォーマット：ヘッダと日付

JIS FORMAT C 8105-5:2011
[TEST] {試験識別名}
[TESTLAB] {試験機関名}
[ISSUEDATE] {発行日付}
[MANUFAC] {器具の製造業者名}
[LUMCAT] {照明器具の品番}
[LUMINAIRE] {照明器具の説明}
[LAMPCAT] {光源の品番}
[LAMP] {光源の説明}
TILT=NONE
{灯数} {ランプ光束} {光度の表示種別}
{鉛直角データ数} {水平角データ数} {座標系} 2
{長方形の場合:幅(m),円形の場合:直径(m,マイナス符号をつける)} {長方形の場合:長さ(m),円形の場合:直径(m,マイナス符号をつける)} {高さ(m)}
1 1 {定格消費電力(W)}
{鉛直角横ベクトル}
{水平角横ベクトル}
{水平角毎の光度横ベクトル 1}
{水平角毎の光度横ベクトル 2}
・
・
・
{水平角毎の光度横ベクトル n}

JIS FORMAT C 8105-5:yyyy を記入します。
JIS C 8105はIESフォーマットが定義されている規格名です。
yyyyには、JIS C 8105-5が制定あるいは改正された西暦年号を記入します。

ファイルを作成した日付を記入します。日付は、dd-MMM-yyyy で表します。
(例)2011年2月15日　→　15-FEB-2011

IESフォーマット：灯数とランプ光束、光度表示種別

JIS FORMAT C 81
[TEST] {試験識別名
[TESTLAB] {試験機
[ISSUEDATE] {発行
[MANUFAC] {器具
[LUMCAT] {照明器
[LUMINAIRE] {照
[LAMPCAT] {光源の品番}
[LAMP] {光源の説明}
TILT=NONE
{灯数} {ランプ光束} {光度の表示種別}
{鉛直角データ数} {水平角データ数} {座標系} 2
{長方形の場合:幅(m),円形の場合:直径(m,マイナス符号をつける)} {長方形の場合:長さ(m),円形の場合:直径(m,マイナス符号をつける)} {高さ(m)}
1 1 {定格消費電力(W)}
{鉛直角横ベクトル}
{水平角横ベクトル}
{水平角毎の光度横ベクトル 1}
{水平角毎の光度横ベクトル 2}
・
・
・
{水平角毎の光度横ベクトル n}

灯数：　光源が分離できる照明器具の場合、用いる光源の数を記入する。
光源が分離できない照明器具の場合、1を記入する。

ランプ光束：　光源が分離できる照明器具の場合、光源1つあたりの全光束値を記入する。
光源が分離できない照明器具の場合、照明器具の全光束値を記入する。

光度の表示種別：　光度表示が絶対光度(cd)の場合、1を記載する。
光度表示が相対光度(cd/1000lm)の場合、上記{灯数}×{ランプ光束}を1000で割った値を記入する。

IESフォーマット：座標系

JIS FORMAT C 8105-5:2011
[TEST] {試験識別名}
[TESTLAB] {試験機関名}
[ISSUEDATE] {発行日付}
[MANUFAC] {器具の製造業者名}
[LUMCAT] {照明器具の品番}
[LUMINAIRE] {照明器具の説明}
[LAMPCAT] {光源の品番}
[LAMP] {光源の説明}
TILT=NONE
{灯数} {ランプ光束} {光度の表示種別}
{鉛直角データ数} {水平角データ数} {座標系} 2
{長方形の場合:幅(m),円形の場合:直径(m,マイナス符号をつける)} {長方形の場合:長さ(m),円形の場合:直径(m,マイナス符号をつける)} {高さ(m)}
1 1 {定格消費電力(W)}
{鉛直角横ベクトル}
{水平角横ベクトル}
{水平角毎の光度横ベクトル 1}
{水平角毎の光度横ベクトル 2}
・
・
・
{水平角毎の光度横ベクトル n}

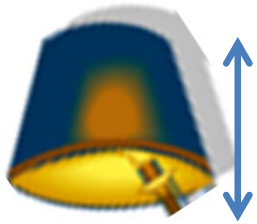
測定座標系の種別を数値で記載する。
a) θφ座標系は1
b) αβ座標系は2
c) xy座標系は3
（弊センターの測定座標系はθφ座標系です。）

IESフォーマット：器具のサイズ

JIS FORMAT C 8105-5:2011
[TEST] {試験識別名}
[TESTLAB] {試験機関名}
[ISSUEDATE] {発行日付}
[MANUFAC] {器具の製造業者名}
[LUMCAT] {照明器具の品番}
[LUMINAIRE] {照明器具の説明}
[LAMPCAT] {光源の品番}
[LAMP] {光源の説明}
TILT=NONE
{灯数} {ランプ光束} {光度の表示種別}
{鉛直角データ数} {水平角データ数} {座標系} 2
{長方形の場合:幅(m),円形の場合:直径(m,マイナス符号をつける)} {長方形の場合:長さ(m),円形の場合:直径(m,マイナス符号をつける)} {高さ(m)}
1 1 {定格消費電力(W)}
{鉛直角横ベクトル}
{水平角横ベクトル}
{水平角毎の光度横ベクトル 1}
{水平角毎の光度横ベクトル 2}
・
・
・
{水平角毎の光度横ベクトル n}

長方形（蛍光灯器具など）の場合：
幅＝発光面短軸方向の長さ(m)
長さ＝発光面長軸方向の長さ(m)
高さ＝発光面から器具背面までの長さ(m)
円形（投光器など）の場合：
直径＝マイナス符号の後に発光面直径(m)　※同じ値を続けて記入します。
高さ＝発光面から器具背面までの長さ(m)

(円形の例)



高さ45cm

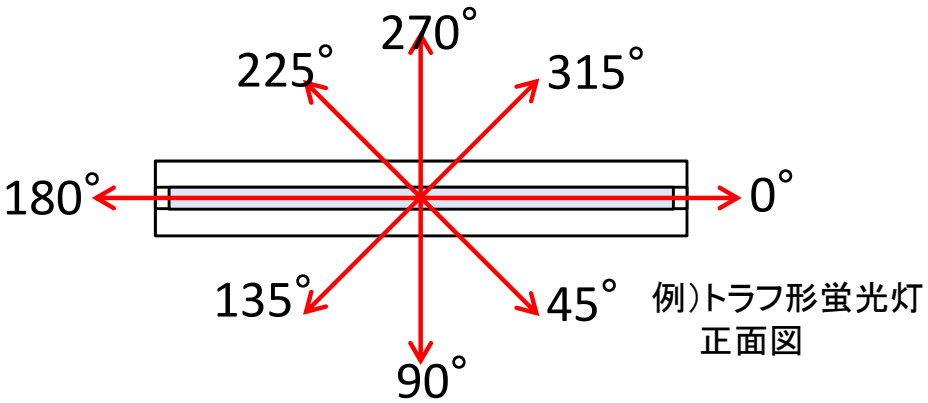
直径40cm

-0.4 -0.4 0.45
と記入

IESフォーマット：水平角と鉛直角

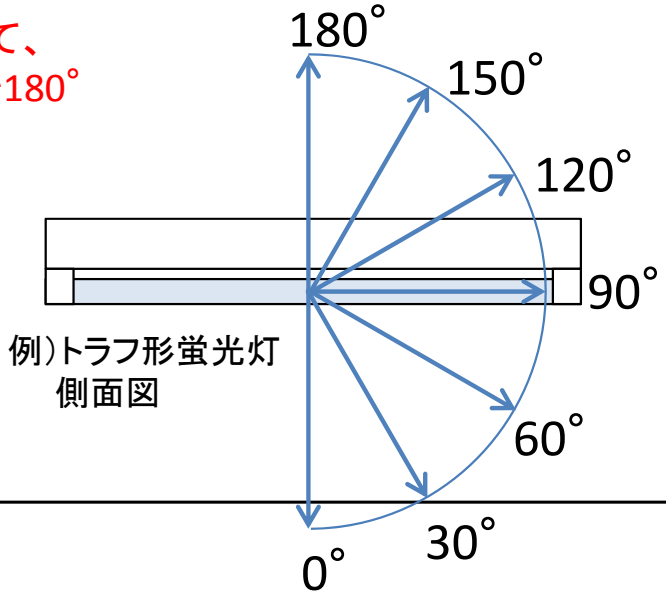
JIS FORMAT C 8105-5:2011
[TEST] {試験識別名}
[TESTLAB] {試験機関名}
[ISSUEDATE] {発行日付}
[MANUFAC] {器具の製造業者名}
[LUMCAT] {照明器具の品番}
[LUMINAIRE] {照明器具の説明}
[LAMPCAT] {光源の品番}
[LAMP] {光源の説明}
TILT=NONE
{灯数} {ランプ光束} {光度の表示種別}
{鉛直角データ数} {水平角データ数} {座標系} 2
{長方形の場合:幅(m),円形の場合:直径(
1 1 {定格消費電力(W)}
{鉛直角横ベクトル}
{水平角横ベクトル}
{水平角毎の光度横ベクトル 1}
{水平角毎の光度横ベクトル 2}
・
・
・
{水平角毎の光度横ベクトル n}

水平角の定義：器具中心から、放射状に伸びる線分毎に異なる水平角として区別します。
※1　弊センターでは、同一直線上の2つの水平角を"1配光"として呼称しています。
（例：0°　-180°　方向をまとめて1配光と呼称します。）
※2　弊センターでは、長方形器具の場合、長軸方向の一方を水平角0°　として
定義しています。



例）トラフ形蛍光灯
正面図

鉛直角の定義：ある水平角方向に対して、
光源直下を0°　、直上を180°
として定義します。



例）トラフ形蛍光灯
側面図

IESフォーマット：水平角データと鉛直角データ

JIS FORMAT C 8105-5:2011
[TEST] {試験識別名}
[TESTLAB] {試験機関名}
[ISSUEDATE] {発行日付}
[MANUFAC] {器具の製造業者名}
[LUMCAT] {照明器具の品番}
[LUMINAIRE] {照明器具の説明}
[LAMPCAT] {光源の品番}
[LAMP] {光源の説明}
TILT=NONE
{灯数} {ランプ光束} {光度の表示種別}
{鉛直角データ数} {水平角データ数} {座標系} 2
{長方形の場合:幅(m),円形の場合:直径(m,マイナス符号をつける)} {長方形の場合:長さ(m),円形の場合:直径(m,マイナス符号をつける)} {高さ(m)}
1 1 {定格消費電力(W)}
{鉛直角横ベクトル}
{水平角横ベクトル}
{水平角毎の光度横ベクトル 1}
{水平角毎の光度横ベクトル 2}
・
・
・
{水平角毎の光度横ベクトル n}

測定した鉛直角を記載します。
例) 5°ピッチで0°から160°まで測定した場合
0 5 10 15 ・・・ 155 160 と記入

測定した水平角を記載します。
例) 90°ピッチで0°,90°,180°,270°で測定した場合
0 90 180 270 と記入

取得した水平角データ数、鉛直角データ数を記入します。

一つの水平角について、鉛直角毎に計測した光度の値を記入します。

例)水平角10°ピッチ、鉛直角0°～160°まで5°ピッチで測定した場合のデータ配列

鉛直角	0°	5°	・・・・・・	160°
水平角 0° →	120	115	112 98 ・・・ 5 1 0 0	0
水平角10° →	119	108	101 81 ・・・ 2 0 0 0	0
水平角350° →	119	108	101 81 ・・・ 2 0 0 0	0